

NEWS LETTER

Vol.01 - May 2025

明海大学保健管理センター障がい学生支援室

Opening of the Disability Support Office

障がい学生支援室が始動しました

本学では、すべての学生がその人らしく学べる環境を整えるため、このたび「障がい学生支援室」を設立いたしました。障害のある学生が直面する修学上の困難をともに理解し、合理的配慮を通じてインクルーシブな学びの場を築くことを目的としています。

障がいとは

身体的、知的、精神的（発達障がいを含む）などの心や体の機能に障がいがあり、その状態と社会の中にあるさまざまな障壁が影響し合うことで、日常生活や大学生活において困難や制約を感じることがある状態を指します。

合理的配慮とは

合理的配慮とは、障がいのある学生が安心して学べるように、学生と大学が話し合いながら、一緒に学びやすい環境をつくっていく工夫のことです。「障害は本人の問題ではなく、社会とのかかわりの中で生まれる困難」とする「障害の社会モデル」に基づいています。合理的配慮は特別な支援ではなく、「その人が力を発揮できるように、大学側ができる工夫を一緒に考える」ことを大切にしています。2025年度前期は、現在25名ほどの学生が利用しています。



障がい学生支援室の主な機能

- 障がいのある学生からの相談受付とアセスメント
- 合理的配慮に関する学内調整と支援コーディネート
- 教職員への支援対応に関するコンサルテーション
- 学内の啓発活動
- 修学・学生生活上の困難に関する情報共有と連携強化
- ピアサポーター養成

合理的配慮の進め方

1. 学生相談の受付とニーズ把握
申請の内容を確認します
2. 医学的根拠（診断書等）の確認と学校医面談
3. 関係部署との協議・調整（教務、学部事務等）
4. 合理的配慮願の発行
5. 支援実施と継続的な見守りと支援の調整

支援の本質は、「個別の困りごと」に耳を傾け、「その人に合った合理的な調整」を、学生と大学が協働して設計することにあります。そのために、対話を大切にしています。

メンバー

●支援コーディネーター

公認心理師

樋口 倫子 (Noriko Higuchi)

林 哲也 (Tetsuya Hayashi)

中嶋 一恵 (Kazue Nakashima)

山本 真澄 (Masumi Yamamoto)

看護師

渡邊 恭子 (Kyoko Watanabe)

醍醐 道子 (Michiko Daigo)

島尻 史子 (Fumiko Shimajiri)

●スタッフ

学校医

小林 滋 (Shigeru Kobayashi)

事務

大森美貴 (Miki Omori)



お問い合わせ先

気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。

障害学生支援室 shougaishien@meikai.ac.jp

学生相談室 msoudanyoyaku@meikai.ac.jp

TEL : 047-355-5287(月~金 : 9:00~17:50)

内線 : 4246



次号のテーマ：多様な学生の学びを支える工夫